

日本販路コーディネータ協会情報誌

2026

エキスパート

1



2026

浅草開催 全国研究会

日本プロモーション大賞2025

日本観光特産大賞2025

認定講師養成講座



目次

第 25 回 MMP グループ全国研究会 ～理論で考え、実践で学ぶ～ 1 月 17 日(土)	2
2025 年プロモーション大賞_受賞決定	4
『日本観光特産大賞 2025』が大賞決定！	6
組合まつり in TOKYO(東京国際フォーラム) レビュー	9
認定講師登録制度について	11
2026 年度全国一斉資格試験 6 月 7 日(日)開催	13
観光士・観光特産士・販路コーディネータ 資格取得を目指している方は必見	15
WW 資格優遇制度及び特例措置に関して	16
JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中！	18
モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集！	19
MMP 総研研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～	20
紙の本と学ぶ映像 MMPコミュニケーション	21
研修・試験スケジュールのご案内	22
ホームページのご案内	23

当誌「エキスパート」では全国の優秀な協会会員に原稿を依頼して、掲載しています。

MMP グループからのご連絡

■X アカウントを創設しました。皆さんの投稿をお待ちしています。

商品開発士 : https://x.com/Shouhin_jmcp
日本営業士会 : https://x.com/SalesPro_Japan
日本観光文化協会 : https://x.com/Kanko_bunka
MMP グループ : https://x.com/MMP_group

■会員情報誌「エキスパート」を3月、5月、7月、9月、11月、1月の年 6 回奇数月にお送りしております。

新刊とバックナンバーは下記よりご確認ください。

<https://www.hanro.jp/members/expert0711.html>

第 25 回 2026 年 MMP グループ全国研究会 ～理論で考え、実践で学ぶ～ 2026 年 1 月 17 日(土)



(第 25 回) 2026 年 MMP グループ全国研究会

MMP グループ全国研究会では、異業種の仲間と意見交換しながら、普段の仕事では得られない新しい視点やアイデアに出会えます。
「研修」と聞くと堅い印象かもしれませんが、ここでは気軽な雰囲気の中で交流を楽しみながら自然にスキルアップできるのが魅力です。

【過去にご参加いただいた方の声】

- 「マネジメントマーケティングについて説明をいただき、課題解決のイメージを持つことができました。（販路コーディネータ）」
- 「これまで以上にもっと学び、地方創生の一助として貢献したい気持ちが改めて湧いてきました。（商品開発コーディネーター）」
- 「MMP グループの仕組み体制を全く理解できていない中での参加でしたが、とても勉強になり、異業種の方と交流ができて有意義でした。（観光士）」

MMP グループ全国研究会の後は、近隣で新春交流会を開催します。
全国の仲間と交流し、MMP®の体験を共有することで、自己のスキルアップとネットワーク強化につながります。

【詳細はこちら】 https://www.hanro.jp/event/jmc_zenkoku.html

◆第一部 MMP グループ全国研究会

◎2025 年度大賞ご紹介

- ◇コーディネーター大賞
- ◇日本観光特産大賞 2025
- ◇日本プロモーション大賞 2025

◎MMP リーダー研修「MMP スキルアップコミュニケーション」

◇グループワーク

150 分で変わる、あなたの“聴き方・伝え方”。即戦力を磨く実践研修。
変化が常態化する現代において、“対話”で組織を動かすリーダーが求められています。
「MMP リーダー研修」では、戦略設計力・組織マネジメント力・合意形成力を三方向対話を通じて段階的に習得し、即現場で活かせる“実践力”を磨きます。

講義とグループワークの 150 分で、聞く力・伝える力・引き出す力を飛躍的に向上させ、チームや組織を率いるリーダーとしての感覚を身につけます。

◇グループワーク／この研修で得られるもの

- ・ 関係者と円滑にコミュニケーションを取り、迅速に意思決定を推進できる
- ・ 組織を動かすマネジメント力
- ・ アクティブリスニングとフィードバック応答法の実践習得
- ・ MMP 戦略会議をリードする力とリーダーとしての実践感覚
- ・ MMP ワンシート企画書の活用・実践

◆第二部 新春交流会

MMP グループ全国大会の後は、新春交流会を開催します。

ここで MMP®の体験を全国の会員たちと共有し、自己のスキルアップ、ネットワークを強化することができます。

◆昨年の受賞者と MMP グループワーク、交流会の様子



日時	2026 年 1 月 17 日 (土) 13:00 第一部受付開始 13:30~14:00 挨拶・表彰紹介・MMP 説明 14:00~16:30 MMP グループワーク 17:00~ 第二部 新春交流会
会場	◆第一部：都立産業貿易センター台東館（2階会議室 A） ◆第二部：近隣会場（浅草）
参加費	会員：第一部 2,000 円／第二部 6,000 円／両部 8,000 円 一般：第一部 4,000 円／第二部 6,000 円／両部 10,000 円
受付締切	2026 年 1 月 14 日 (水)
お申込み	https://www.hanro.jp/cgi-bin/ah/form.cgi
ご注意	Gmail をご利用の方は「support@hanro.jp」からの受信許可設定をお願いします

2025 年プロモーション大賞_受賞決定



日本プロモーション大賞は、わが国における販売促進、広告宣伝、広報部門等の担当者の向上およびプロモーションに対する一層の理解促進を図ることを目的として年に一度開催しています。

日本販売促進協会は、2025 年 12 月 10 日(水)『日本プロモーション大賞 2025』を発表、グランプリは『『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略』(おいしかわ県 PR 協議会)に決定しました。また、金賞_優秀賞を「西伊豆 & ANGLER」(一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン・西伊豆町)に決定しました。

【詳細はこちら】 <https://www.jsp.or.jp/award/index.html>

◆グランプリ

『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略／おいしかわ県 PR 協議会

『『輝・輝姫・煌』石川県産水産物のトップブランド戦略』は、加能ガニ「輝(かがやき)」、香箱ガニ「輝姫(かがやきひめ)」、天然能登寒ぶり「煌(きらめき)」など、厳格な基準を満たす最高級ブランドを創出するとともに、毎年初セリに合わせてその日の一番を競い合う「蟹-1 グランプリ」や「鰯-1 グランプリ」を開催することで高額入札を生み、話題性と認知度を高めています。さらに、SNS や Web サイト「うおルカム! おいしかわ県.jp」を活用し、地元の飲食店やスーパーとも連携した情報発信を展開。能登半島地震後の復興を単なる特需で終わらせるのではなく、漁業と関連産業全体が持続的に潤うことを目指しています。



◆推薦のこぼ



・石川県産水産物のブランド戦略である。後発のブランドである点を跳ね返すため、蟹-1 グランプリや鰯-1 グランプリなどで話題性のあるイベントを仕掛け、発信性を高めた結果、初競価格の大幅向上と、認知度が上がり、一般魚の価格も向上して、地域の漁業や飲食店、観光事業者の事業に貢献している点を評価した。(大山 充)

・北陸の地域資源を最大限に活用したマーケティング戦略を実施。地震からのリスタートも考慮した評価。(岡田 吉晴)

・トップブランドを創出し、それによる話題づくりによって、石川県全体の水産物の価値と知名度を高

めている。イベントや SNS、マスコミなどを組み合わせたプロモーションは、秀逸で効果も出ており、グランプリにふさわしい。(尾中謙治)

◆金賞 優秀賞

「西伊豆&ANGLER」／一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン・西伊豆町



「西伊豆&ANGLER」は、革新的で新しい形の「釣り人向けの移住施策」です。漁師不足や漁獲量の減少への対策として、西伊豆町が一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと連携し、全国から釣り人(アングラ)を招いて地域を活性化する取り組みです。「釣りを複業にできる町」を目標に、体験ツアーや意見交換会、移住支援、漁業権取得相談などを実施しています。

「西伊豆&ANGLER」というプロジェクトが立ち上がった背景には、西伊豆町が長年抱えてきた深刻な漁業の担い手不足と、過疎化・高齢化による地域活力の低下があります。西伊豆町には、もともと豊かな海と漁業資源がありましたが、近年は漁師の高齢化や後継者不足が進行し、漁獲量の減少が大きな問題となっていました。地方の小さな漁村ということもあり、地域に住む人口も減少し続け、町の活気や経済基盤の維持が難しくなっていました。

これらの課題に対し、単なる移住者募集ではなく、「釣り×複業」という切り口で地域外の多様な人材を呼び込み、交流と共創を通じて漁業や地域に新しい担い手と活力を生み出す仕組みを作りました。

◆推薦のことば

・革新的で新しい形の「釣り人向けの移住施策」です。漁師不足や漁獲量の減少への対策として、西伊豆町が一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンと連携し、全国から釣り人(アングラ)を招いて地域を活性化する取り組みです。「釣りを複業にできる町」を目標に、体験ツアーや意見交換会、移住支援、漁業権取得相談などを実施し、単なる移住者募集ではなく、「釣り×複業」という切り口で地域外の多様な人材を呼び込み、交流と共創を通じて漁業や地域に新しい担い手と活力を生み出す仕組みを作りました。(日野隆生)

・切実な漁師不足を、釣り好きな人材掘り起しから移住へと繋げ、産業再活性へと繋げている点を評価。(吉留景子)

【日本販売促進協会 小塩会長からのコメント】

「日本プロモーション大賞」は当協会の「商・販・販促・マネジメント」という視点からの賞です。これは、販売促進、広告宣伝、広報部門等の担当者にとって必要不可欠な、イベント、プロモーションやマスメディア、SPメディアなどの知識です。

実際のところ、広告代理店や印刷会社の方に必要な知識はクライアント側に立った「商品開発」「販売」「販売促進」「マネジメント」の知識です。このことを広く認識していただくために、当協会員だけでなく、一般企業・団体の販売促進、広告宣伝、広報部門等や広告代理店、印刷会社、その他制作会社等が企画実施する販促活動(広報を含む活動)の事例を自薦・他薦問わず広く募集しました。

この審査を通して日本を代表する優秀な活動を表彰、公開するものとして実施しています。

『日本観光特産大賞 2025』が大賞決定！

一般社団法人日本観光文化協会は、2025 年 12 月 12 日（金）『日本観光特産大賞 2025』を発表、観光特産大賞の「グランプリ」を「北海道：猿払ほたて貝」に決定しました。また、金賞「優秀賞」を「福井県：敦賀おぼろ昆布」に、金賞「ニューウェーブ賞」を「大分県：地獄蒸し®プリン」に決定しました。

「日本観光特産大賞」とは、毎年 12 月に一般社団法人日本観光文化協会が、食と観光、地元グルメ、お土産品などでその年話題になった観光特産品を表彰してゆく制度です。受賞品は 2026 年 1 月 17 日（土）に開催される MMP グループの全国研究会で紹介します。



※ 観光でその地域を訪れたいと望む人々にとっては、その地域が選択に値する魅力あるものが存在していることが重要となるため、一般社団法人日本観光文化協会では「観光特産」を「観光資源と地域特産の融合によって生み出された商品及びサービス」とであると定義しています。

観光特産 = 観光資源 x 地域特産

◆（一社）日本観光文化協会 小塩会長からのコメント

一般社団法人日本観光文化協会では「観光資源×地域特産＝観光特産」という定義を大切にしています。当協会は日本各地の観光特産の中から観光特産大賞を選ぶ活動を通して、全国の観光特産に注目し、全国の地方・観光地の産業を全力で応援したいと考えています。2025 年度も観光特産大賞の審査を行い、下記のように決定しました。

グランプリに輝いた「北海道：猿払ほたて貝」については、審査員の一人、笠谷圭児より「日本有数のホタテ産地としての知名度に加え、直売・体験・交流イベントなど「滞在型の観光消費」を生み出している点を高く評価できます。水産資源のブランド化と、村全体の観光コンテンツ（景観・グルメ・体験）を結び付けており、「観光特産大賞」の主旨に最も合致しました。との評をいただいております。

【詳細はこちら】 <https://jttmm.jp/award/>

■ 日本観光特産大賞「グランプリ」 北海道：猿払ほたて貝



◆受賞団体 猿払村

◆商品特性 日本有数の水揚げの日本最北の村『猿払（さるふつ）』で取れるほたては、厳しい天然の環境で稚貝を撒き、4 年をかけて育てられる。ほたての種苗を 1 年かけて海中で育て、3～5cm の大きさの”稚貝”になったら、いったん海に放す。漁場の見回りを大切にしていて、順調に成長しているかどうか年間約 500 回も実際に採り上げて確認している。

◆推薦のことば

・ 5年の歳月を掛けて、生育方法をスケジュール管理して、どれもが均一、最高級なブランド品なるように育成されている。自然を相手にしながらの生産技術もすばらしい。そこで獲れるホタテは高級品として寿司屋は当然、ホテルや料亭等でも重宝されて高い値段で取引される。コロナ禍であってもコンスタントな商取引がされていて、非常に質のよりブランド品・観光特産を産み出している。今回の観光特産大賞ということ言えば、＜ホタテ貝・北海道＞ではなく、是非『猿払村産ホタテ貝』という地域限定の特産品として賞を授与したい。歴史、生産過程、地元との関係性、イベント開催等すべてが観光特産大賞にふさわしいと考える。(植利絵子)

■金賞「優秀賞」 福井県:敦賀おぼろ昆布



◆受賞団体 福井県昆布商工業協同組合

◆商品特性 敦賀のおぼろ昆布製造技術は、古くから日本海の海運の要衝であった敦賀において、交易品の昆布を用いた細工昆布の製造加工の技術として伝承されてきた。敦賀では、現在も手作業による伝統的な製法が維持されている。専用の刃物を用いて様々な厚みに削り分ける技術や、刃先の調整技術などが継承されており、地域的特色のある昆布の製造技術として注目される。

◆推薦のことば

・ 日本海の要衝・敦賀で受け継がれる高度な削りの技は、2024～2025 年にかけて文化財登録が進むなど「今、評価すべき価値」が特に高い。専用の包丁で一枚ずつ手削りする職人技が、地域の食文化と直結しており、工芸的価値と食文化の両面で優れている。(植田聡子)

・ 城の石垣を積み上げる時、潤滑補助剤として重用された昆布。無論、運搬には北前船が主流となったので、寄港地や最終消費地には昆布を用いた食材や料理が多く残る。おぼろ昆布もその食材の一つで、独特の鉋を用いて薄く削ぎ取る技術は、職人技の極みと言える。また、吸い物・蕎麦・饅頭・おむすびなどへ加えると滋味が溢れ出し、重宝な副食品と言える。(金廣利三)

■金賞「ニューウェーブ賞」 大分県:地獄蒸し(R)プリン



◆受賞団体 岡本屋売店

◆商品特性 別府の温泉蒸気を使った地獄蒸しは、この地域独自の伝統的調理法。地域資源と食品文化の融合の象徴として作られ、地元産素材を用いた無添加のプリン。温泉由来のミネラル風味が特徴。プリンと観光の地獄蒸し体験と融合した地域観光との相乗効果も創出しています。

◆推薦のことば

- ・「地獄蒸し」とは、大分県別府市で有名な調理法で、温泉の噴気(高温の蒸気)を利用して食材を蒸し上げる伝統的な方法である。「地獄蒸し(R)プリン」は、この温泉蒸気を使ってプリンを蒸し上げたスイーツ。高温の蒸気で一気に加熱するため、なめらかで濃厚な食感に仕上がるのが特徴である。蒸気で仕上げることで、香ばしいカラメルとの相性が際立つ。温泉地ならではの「地獄蒸し体験」と一緒に楽しめる点が観光の魅力になっている。「地獄蒸し(R)プリン」は単なるスイーツではなく、温泉文化と観光体験を結びつけた商品で、温泉蒸気で蒸すという体験そのものが珍しく、観光客にとって「ここでしか食べられない特別感」がある。「地獄蒸し工房」では、野菜や海鮮を蒸す体験とセットで楽しめるため、プリンはその締めくくりの甘味として人気である。(日野 隆生)
- ・ 地獄蒸し(R)プリンは、別府の温泉蒸気を活かす伝統調理「地獄蒸し」から生まれた特産スイーツである。1988 年から職人が守り続ける手づくり製法は地域文化の象徴であり、苦味とミネラル感あるカラメルと濃厚で滑らかなプリンが生む上品な味わいは格別。明礬温泉の情景とともに“温泉地ならではの体験”を堪能できる。(舘和彦)

<日本観光特産大賞>

◆審査方法:一般社団法人日本観光文化協会会員によりノミネートされた特産品に 1 位から15位までランキングを付け、ポイントによる加点方式で集計し、「観光特産大賞 グランプリ」、「金賞 優秀賞」、「金賞 ニューウェーブ賞」を決定してゆきます。

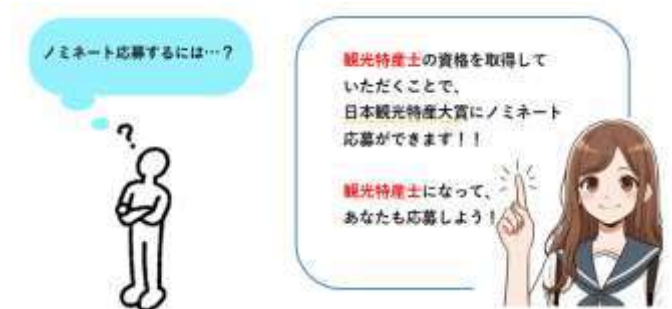
◆最終選考:審査員によるランキング付け・順位を数値化し集計

審査員(敬称略):日野 隆生(元東京富士大学教授) 舘 和彦(愛知学泉大学教授)

笠谷 圭児(経済産業省認可セールスレップ・販路コーディネータ協同組合理事長)

金廣 利三(6 次産業化プランナー) 榎 利絵子(観光特産士マイスター・観光コーディネーター)

植田 聡子(観光 PR コンサルタント、JTCC 認定観光コーディネーター、日本観光士会認定講師)
小塩 稲之(日本観光文化協会会長)



【主 催】一般社団法人 日本観光文化協会

【運 営】全国観光特産士会 運営事務局

◆日本観光特産大賞のこれまでの実績は、下記よりご覧ください。

[<第 1 回:2019 年>](#) [<第 2 回:2020 年>](#) [<第 3 回:2021 年>](#) [<第 4 回:2022 年>](#)
[<第 5 回:2023 年>](#) [<第 6 回:2024 年>](#)

※ MMP グループ内の日本観光士会資格、商品開発士会資格、販路コーディネータ資格、セールスレップ、営業士、プロモーション資格のいずれかをお持ちの方も、投票することが来ます。

【セールスレップ・販路コーディネータ協同組合 主催】 組合まつり in TOKYO(東京国際フォーラム) レビュー



2025 年 10 月 29 日(水)と 30 日(木)に、昨年に引き続き東京国際フォーラム(有楽町駅)E会場にて東京中央「組合まつり in TOKYO ~技と食の祭典!」が開催されました。MMP グループは、「JRM セールスレップ販路コーディネータ協同組合」、「(一社)日本販路コーディネータ協会」、「(一社)日本観光文化協会」の合同三事業者で参加し、「日本観光特産大賞」、「日本プロモーション大賞」、「協同組合

マーケティング企業支援クラブ」の紹介を中心としたプロモーション活動を行いました。組合員様のお取引のある関係企業様の商品なども無料で展示させてもらい、多くの人に宣伝することができました。本当に、充実した 2 日間となりました。

主催者 HP <https://kumiai-matsuri.jp/>





今年で 2 年目の参加となった「組合まつり in TOKYO」、「セールスレップ・販路コーディネータ協同組合」の母体である MMP グループの事業内容を紹介するとともに、組合を応援していただいている多くの地方団体や関連企業様のご協力で大成功となりました。出展に協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

来年は、更に多くの方々の共感を得られるような展示ブースにして参りたいと思います。宜しくお願いいたします。

◇出展商品

- ・五島うどん（長崎県五島列島）
- ・かほく冷たい肉そば（山形県河北町）
- ・ポータブル蓄電池（株式会社アスリテラ様）
- ・総称山形牛の加工品（山形県寒河江市）



認定講師登録制度について

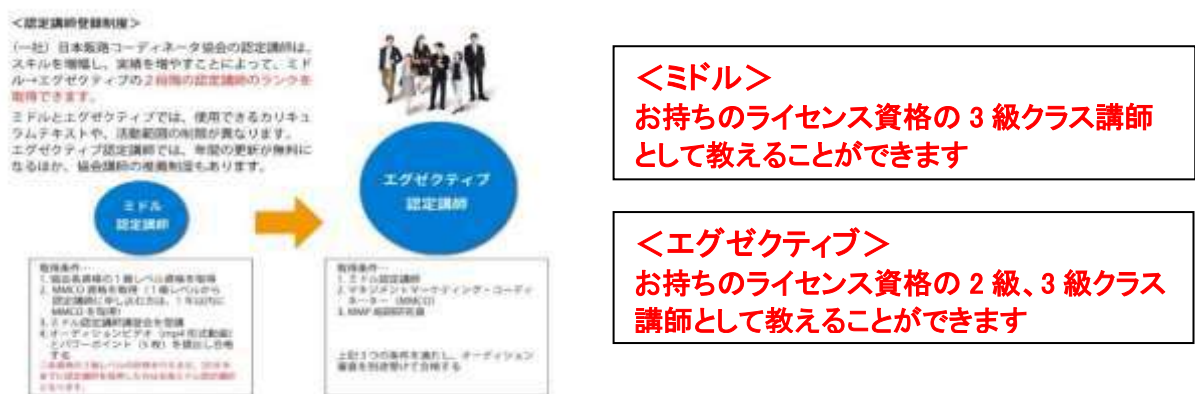
MMP 総研では毎年度、企業及び公的研修、資格認定研修プログラムや MMP®等の認定講師を認定しています。協会からの各都道府県の派遣者講師、東京都中央会などの専門家派遣の方々などは、認定講師登録者が条件となっており、協会認定講師の方は各産業界で幅広く活躍されています。ご活躍されている認定講師の方をご紹介します。

◆日本販路コーディネータ協会 認定講師紹介 <https://hanro.jp/jmc/leader.html>

◆日本観光士会 認定講師紹介 <http://www.jtcc.jp/koushi/index.html>

◇ お持ちのライセンス資格の認定講師は、ミドルは 3 級、エグゼクティブは 2 級、3 級を教えることができます

【認定講師登録制度の詳細はこちら】



■ミドル認定講師とエグゼクティブ認定講師の資格認定の登録制度

販路コーディネータ

<https://www.hanro.jp/event/koushi.html>

セールスレップ

<https://www.jrep.jp/infoprep/koushi.html>

営業士会

https://www.nrep.jp/eigyoushi_info/koushi.html

商品開発

<https://www.jmcp.jp/koushi/>

販売促進

<https://www.jsp.or.jp/event/koushi.html>

観光士会

<http://www.jtcc.jp/event/koushi.html>

場おこし認定講師

<https://jtmm.jp/baokoshi-nintei/>

■ミドル認定講師・登録制度の概要

◇ ミドル認定講師とは

企業、専門学校、大学を対象とした、販路コーディネータ 3 級レベルの研修を行うことができる認定講師です。MMCO 資格保有者であって、ミドル認定講師養成研修受講の講師であることを基本としています。

◇ 本格的な企業研修、学校教育

認定講師は事務局に届出の上、公式テキストを使用した企業内研修を開催できます。

本格的な企業研修、学校教育では、

- ① 3 級研修講師は MMCO 資格取得者で、ミドル認定講師が必須条件となっています。
- ② 研修内容は、相手先の要望に合わせることができます。また、実施時には協会の研修ツールを随時、分野ごとに各研修先企業に合わせて編集しますが、その著作権等は協会に帰属しています。
- ③ テキストは、書籍、公式テキスト、事例問題、DVD などが協会から発行されているものに遵守します。

◇ 参加資格 MMCO 資格を取得している方**◇ 登録台帳および名簿の作成等**

講師登録者の氏名等は、本協会備え付けの講師登録者台帳に記帳します。

※ 講師は 3 級レベル、2 級レベル、1 級レベル向けごとの登録制度としています
(2 級レベル講師登録者は 3 級レベルの資格研修を行うことができます)。

※ 各地域の JMC 認定研修センターにおいては、每期ごとに 3 名以上の講師登録者の申請、在籍を必須としています。

※ 講師は年度ごとに更新が必要です。

◇ 認定講師の活動分野について

(一社)日本販路コーディネータ協会のカリキュラムに沿った講師活動が認められる。民間企業向けカリキュラム研修講師など

- ・認定登録者向け研修: (一社)日本販路コーディネータ協会 MM 戦略会議研修及び研修カリキュラム講師等
- ・民間企業研修: (一社)日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等
- ・民間企業合同開催研修: (一社)日本販路コーディネータ協会 3 級、2 級、1 級研修プログラム、MM 戦略会議研修及び企業研修カリキュラム講師等

◇ 公的機関等の研修講師など

公的研修: 国、地方自治体、公共団体、外郭団体及びそれらに準じる組織、団体向け(一社)日本販路コーディネータ協会研修カリキュラム講師など

◇ 学校教育授業教育など

(一社)日本販路コーディネータ協会カリキュラムでの授業教育

高校・専門学校学校向け: 単科教科・・・ビジネス基礎教育向け

大学・専門学校等教科向け: 販路コーディネータ等・・・選択科目向け

◇ 認定研修センターの開設について

研修生の教育にあたっては、認定教育機関は各都道府県ごとの(複数センター開設可)研修センターとし、センターにおいては販路コーディネータについての広く深い理解と専門力を養い、その知識を高めると共に、普及啓蒙活動に努めることをその研修方針としています。

また、(一社)日本販路コーディネータ協会においては、必要な専門的知識、技能を修得させると共に、技能者として必要な本分野におけるビジネス知識を高めることをその研修方針としています。

認定教育機関の開設にあたっては、(一社)日本販路コーディネータ協会に申請書と認定教育センター連携計画書をご提出いただき、認定教育センター指定のご契約をさせていただきます。認定研修の開講については、事前に(一社)日本販路コーディネータ協会が審査を行います。

■ (一社)日本販路コーディネータ協会認定研修センター申請について

- (1) 認定研修センター登録申請書の提出と審査
- (2) 認定研修センター年間計画書提出と契約書締結
- (3) 教育機関講師登録申請と手続きについてのご案内送付
- (4) 講師登録の届出

【ミドル認定講師】 講師としての基礎的な知識とスキルを持っている

【エグゼクティブ認定講師】 講師としての実践的な知識と応用的な知識とスキルを持っている

【資格別認定講師養成講座】 上記の資格所持者が受講し、各々の分野(資格)ごとの専門知識(2, 3 級)を教えることができる

本制度に関するお問い合わせは、「MMP®総研」までお願いいたします。

【お問い合わせ】 <https://www.jmmp.jp/contact/index.html>

2026 年度全国一斉資格試験 6 月 7 日(日)開催

2026 年度の「全国一斉資格試験」は「商品開発」「営業販売」「販促広報」「マネジメント・マーケティング」「観光特産」「観光マネジメント」資格について、オンラインで全国試験を実施します！

商品開発士資格では、商品企画と商品開発の大きな違いを明確にし、商品開発コーディネーターは、商品企画や開発のアドバイザーとして仕事ができる人材の養成としての認定を行っています。

営業士は、「製造業、メーカー企業、サービス企業」を中心に、商業系、工業系、IT系、環境系、医療系、建築系、金融系、情報系、その他サービス業などのあらゆる商品・サービスで営業職に就く方が対象となっている資格で、流通系の資格でないことが特徴です。

「営業に有利な資格・検定ランキング！」のネットサイトでは、営業士が業務スキルの底上げに役立つ資格として、営業力・マーケティング力の向上に役立つ資格として紹介されています。

日本販路コーディネータ協会は「市場の視点」に立った思考、創造力・企画力を発揮し、問題・課題解決ができる人材を育成しており、新しい日本を切り拓く人材を「WW型人材」と呼んでいます。これは水平方向、垂直方向に領域を拡げ、専門性を深めていける人材のことです。

協会の教材に基づいた試験が毎年 6 月、11 月の年 2 回開催されており、今回は下期試験にあたります。

各協会において資格を認定、試験はオンライン形式で、パソコンよりインターネット接続ができる環境であれば全国どこからでも受験できます。

試験は、オンライン試験フォームでラジオボタン、チェックボックスで選択する選択問題です。MMP グループの公認資格は、全部で 7 資格あります。販路に関する資格は 5 資格、観光に関する資格は 2 資格、詳細は以下の通りです。

◇販路:販路コーディネータ資格、セールスステップ資格、営業士資格、商品開発資格、プロモーション資格

◇観光:観光資格、観光特産士検定

【観光士】 <http://www.jtcc.jp/kankoshiho/shiken.html>

【観光特産士】 <https://jtmm.jp/>

【2025 年上期 開催】 6 月 7 日(日)



-
- ◆販路コーディネータ3級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd3.html>
 - ◆販路コーディネータ2級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd2.html>
 - ◆販路コーディネータ1級 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd1.html>
-

- ◆セールスステップ3級 https://www.jrep.jp/shiken/siken_3rd.html
 - ◆セールスステップ2級 https://www.jrep.jp/shiken/siken_2nd.html
 - ◆セールスステップ・マイスター https://www.jrep.jp/shiken/siken_1st.html
-

- ◆営業士初級 https://www.nrep.jp/shiken/shiken_shokyu.html
 - ◆営業士上級 https://www.nrep.jp/shiken/shiken_jyokyu.html
 - ◆営業士マスター https://www.nrep.jp/shiken/shiken_master.html
-

- ◆商品プランナー <https://www.jmcp.jp/course/planner/planner.shiken.html>
 - ◆商品開発士 https://www.jmcp.jp/course/product_planning/
 - ◆商品開発コーディネーター https://www.jmcp.jp/product_coordinator/
-

- ◆プロモーション・プランナー <https://www.jsp.or.jp/shiken/beginner.html>
 - ◆プロモーション・プロデューサー <https://www.jsp.or.jp/shiken/intermediate.html>
 - ◆プロモーション・コーディネーター <https://www.jsp.or.jp/shiken/advanced.html>
-

- ◆観光プランナー <http://www.jtcc.jp/kankoshiho/shiken.html>
 - ◆観光士 <http://www.jtcc.jp/kankoshi/>
 - ◆観光コーディネーター http://www.jtcc.jp/kanko_coordinator/shiken.html
-

- ◆観光特産士4級 <https://jtmm.jp/tokusan4/>
- ◆観光特産士3級 <https://jtmm.jp/tokusan3/>
- ◆観光特産士2級 <https://jtmm.jp/tokusan2/>
- ◆観光特産士マイスター <https://jtmm.jp/tokusanmeister/>



MMP グループ

観光士・観光特産士・販路コーディネータ 資格取得を目指している方は必見

WW型 他資格取得編入制度・ダブルライセンス割引

日本観光士会・全国観光特産士会・販路コーディネータ協会複数資格取得を目指している方に吉報です。

【概要】

MMP グループでは、学習を支援する優遇制度が設けられており、各資格の最上位級の1級及びコーディネータは、他の資格の2級から受験、受講できます。

自分がやりたい分野の資格を取得し、次に挑戦できる資格を見つけることができるのが MMP グループです。

WW 型 他資格取得編入制度を利用すると、①初級レベル試験免除、②2 資格目取得以降の初回登録料免除といったダブルライセンス割引が適用されるメリットがございます。

＜ダブルライセンス制度の詳細＞ <http://www.jtcc.jp/seido.html>

【① 初級レベル試験免除について】

例えば日本観光士会の観光コーディネーターが、販路コーディネータの資格を取りたいと希望した場合、販路コーディネータ3級の資格試験が免除され、2級から試験を受験、研修を受講することができます。



【②初回登録料免除、会費(資格更新料)の取り扱い】

通常ですと資格取得後に初回登録料が発生しますが、WW 資格優遇制度では 2 資格目取得以降の初回登録料が免除されます。

※ただし、年会費(13,200 円税込/1 年毎)のみお支払いいただきます。

なお、コーディネーターレベルの資格を取得されましたら、2 資格目以降の年会費も免除され、最初に取得した資格の年会費(1 年毎)のみ発生します。

【利用方法】

本制度を利用する方はまず、いずれかの資格の 1 級レベルの試験(観光コーディネーター、観光特産士マイスター級、商品開発コーディネーター、販路コーディネータ 1 級、営業士マイスター、セールスレップマイスター、プロモーションコーディネーター)に合格し、2 つ目以降に受けたい資格の申込フォームの通信欄に、最上位の資格名と認定番号を記載してください。また、事務局お問い合わせフォームより、申し込み希望の旨をご連絡ください。

【資格取得例】

最上級(コーディネーター)レベルの資格を 2 種取得されますと、年会費が一本化されお得になります。ぜひ取得を目指してください！

WW 資格優遇制度及び特例措置に関して

2025 年全国一斉資格試験は、WW 資格優遇制度や特例！措置を活用して MMP グループの各資格の最上位級に到達しましょう……It's now or never(今しかない)

■WW 資格優遇制度

MMP グループの各資格の最上位級(1 級及びコーディネーター)資格者は、他の資格の 2 級レベルから受験ができます。

例えば、販売促進コーディネーターは、販路コーディネータ資格の取得を希望する場合、販路コーディネータ 3 級の資格試験が免除され、販路コーディネータ 2 級から試験を受験、あるいは研修を受講できます。

《各資格の詳細情報はこちらから》

【販路コーディネータ】

<https://www.hanro.jp/howto.html>

【プロモーションコーディネーター】

<https://www.jsp.or.jp/howto.html>

【商品開発コーディネーター】

<https://www.jmcp.jp/jmcp/howto.html>

【営業士マスター】

<https://www.nrep.jp/eigyoushi/howto.html>

【セールスステップマイスター】

<https://www.jrep.jp/howto.html>



WW 資格優遇制度の利用は、各資格の受付フォームの通信欄に、最上位の資格名と認定番号を記載して申請してください。

申請方法は、下記の販路コーディネータ 1 級一斉資格試験の場合を参考にしてください。

受付フォームへは、各資格試験(一斉試験、研修小試験)のホームページの案内からアクセスしてください。

【販路コーディネータ 1 級一斉試験申請】 <https://www.hanro.jp/shikaku/cd1.html>

■特例措置

協会の指定する有資格者の販路コーディネータ 3 級、プロモーションプランナー、商品開発プランナー、セールスステップ 3 級の資格受験に特例措置制度があります。以下の有資格者で各資格を獲得したい方にとってもリーズナブルな措置制度です。※営業士と観光士は特例措置がありません

〈詳細はこちら〉

【販路コーディネータ】

<https://www.hanro.jp/shikaku/tokurei.html>

【プロモーション】

<https://www.jsp.or.jp/tokurei.html>

【商品開発】

<https://www.jmcp.jp/shikaku/tokurei.html>

【セールスステップ】

<https://jrep.jp/shiken/tokurei.html>

■協会の指定する有資格とは

次の有資格者は、販路コーディネータ 3 級資格認定研修プログラムでの小試験が免除されます。ただし、その場合でも研修受講は必須となります。

- ・中小企業診断士 ・弁理士 ・弁護士 ・公認会計士
- ・税理士 ・司法書士 ・行政書士 ・社労士 ・技術士
- ・経営士 ・ファイナンシャルプランナー
- ・ITコーディネイター ・販売士 1 級



<要件>

- 1、上記の有資格者は、販路コーディネータ 3 級、プロモーションプランナー、商品開発プランナー、セールスステップ 3 級研修における小試験を免除する。
※小試験は免除されますが、研修料金は販路コーディネータ 3 級研修の料金となります。
- 2、届出の証明に必要なもの
 - ・資格を取得した証明書の写し
 - ・資格を保有していることが証明できる書類等の写し※ 研修お申込みの際に、備考欄にご記入ください。追ってご連絡致します。

■提携機関、団体受験の特例措置

(一社) 日本販路コーディネータ協会では、学校教育、企業教育、団体教育での資格導入サポートの一環として、当協会と提携していただいた提携団体について、以下の特例措置を設けています。

(1) 提携校、企業教育の設置

研修のみご希望の提携校、提携企業様での研修試験開催のご対応として、受験者数 10 名様以上から、個別の試験開催にご対応いたします。提携学校、企業様の年間スケジュールや研修生の就職活動のタイミングなどにあわせて、個別に研修、試験を校内、企業で実施することができます。

(2) 合格証の発行

提携校、提携企業様では、合格証の発行のみ、もしくは資格認定登録のどちらでも受け付けています。試験実施後、登録が必要で無い場合は、実費手数料のみで合格証を発行させていただくことも可能です。

提携学校、企業様の在学学生、研修生が、3 級試験に合格した場合、合格登録料 5,500 円で”合格証”を発行いたします。通常の資格認定制度では、資格が登録制度となっており、試験合格後に資格認定登録料、年間登録料のお支払いと資格登録申請書のご提出により、資格登録がなされ”認定証”を発行しておりますが、提携校、提携企業様に限り、合格者 1 名につき 5,500 円のみで”合格証”を発行いたします。企業様では昇級試験などでもご利用いただけます。※年間提携料: 無料

(3) 3 年間の認定登録権の付与

提携学校、企業様の研修生が、ご自分の意思で認定登録を希望した場合の対応として、資格認定登録料割引措置 (5,500 円) と年間登録料 13,200 円のお支払いと資格登録申請書のご提出により、認定登録されます。

通常の資格認定制度では、試験合格通知より 2 ヶ月以内に資格の正規登録料納付と手続きが必要です。

(4) 申請について 申請書は下記からダウンロードしてください。

【申請用紙】 https://www.hanro.jp/jmc/ninteikou_hanroco.doc

JRM プレミア組合員(個人組合員)募集中！

セールスレップ・販路コーディネータ協同組合は、販路コーディネータ・セールスレップ資格保有者に限らず、観光資格保有の方(観光士以上／観光特産士 2 級以上)も加入が可能な組合で、生涯学習できる場、交流できる場が広がる。

JRM プレミア組合員(個人組合員)になると、下記のセミナー・研修、講習会に無料で参加できる。

- ・MM 研究会:年 10 回程度、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・MMP リーダー研修:年 2 回開催、1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・スキルアップ研修:1 回あたり協会会員:3,300 円(税込)
- ・認定講師更新料:ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円(税込)
専門家との出会いの場があり、他業界との情報共有も可能である。

■JRM プレミア組合員(個人組合員)

法人格を持たない(青色申告事業者を除く)個人の方を対象とした制度です(ただし、個人組合員は、組合総会には出席できません)。申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て登録となります。地域の制限はありません。

※入会金:20,000 円、年会費:12,000 円(一括支払い)



セールスレップ・販路コーディネータ協同組合



(レップ販路観光コーディネーター協同組合)

■JRM プレミア組合員 (個人組合員)

プレミア組合員になると、下記のセミナー・講習会に無料で参加できます。

・MM 研究会
(年 10 回程度、1 回あたり
協会会員:3,300 円税込)



・MMP リーダー研修
(年 2 回開催、1 回あたり
協会会員:3,300 円税込)



他にも…

- ・スキルアップ研修
- ・キャリアアップセミナー
(1 回あたり協会会員:3,300 円税込)
- ・認定講師更新料
(ミドル認定講師年間更新料 年間 5,500 円税込)



専門家との出会いの場があり、
他業界との情報共有ができます。

条件

中級以上の資格保有者

- ・日本商品開発士会…商品開発士
- ・営業士…上級以上
- ・日本セールスレップ協会…
セールスレップ 2 級以上
- ・日本販路コーディネータ協会…
販路コーディネータ 2 級以上
- ・日本販売促進協会…
プロモーションプロデューサー
- ・日本観光士会…観光士、
または観光特産士 2 級以上








■正規組合員

※加入時に一口の出費:10,000 円

入会金 40,000 円
年会費 2,000 円
(加入月計算、一括払い)

当協同組合の活動に賛同して組合員として加入頂ける企業、団体は申込確認後、オンラインにて面談を行います。
申請書類等をご提出していただき、理事会の審査を経て組合員登録、法的届出許可とさせていただきます。

※組合員の「証章金」「入会金」「年会費」は消費税課税対象外となります。

※JRM セールスレップ・販路コーディネータ協同組合は、地方創生 SDGs 官公民連携プラットフォームの登録団体として活動しています。

※JRM セールスレップ・販路コーディネータ協同組合は、地方創生 SDGs 官公民連携プラットフォームの登録団体として活動しています。



JRM セールスレップ・販路CO協同組合

組合の年会費を払えば、協会主催の各種セミナー・講習会が無料になるため、多く参加すればするほどお得になるといったメリットもある。加入を検討する中級レベル以上の資格保有者が増えている。

【詳細・お申込】 <http://www.e-rep.jp/rep-kiyaku.html>

モーイブ(モーニング・イブニング)講座 講師募集！



通勤通学時間を利用したスマホ視聴で認定資格講座が1ヶ月で学べる「モーニング・イブニング講座」が、いよいよ今期から開催されました。

MMP 総研は、社会人教育の基礎講座として「商品開発」「販路コーディネータ」「販売促進・広報」「観光コーディネータ」など7つの講座をモーニング・イブニング講座として開講しています。

MMP 総研の通学通勤講座「モーニング・イブニング講座」は1か月で学べ、朝と夕方の通勤電車の中でスマホを使って講義を視聴でき、しかも小試験も通勤中に手軽にできるという、正に「OMO (Online Merges with Offline)」デジタル(オンライン)を前提として、リアルの世界(オフライン)もデジタルの中に包含して捉えようという考え方を取り入れた画期的な講座です。

法人・団体において、人材育成のオンライン化、リスクリソグといった需要に対応しており、販売力、システム力、コンテンツ力、組織力を高めるお手伝いをしています。もちろん個人の学習にも対応しています。

「モーニング・イブニング講座」とは、「モーニング講座コース: 平日 AM6 時～9 時迄」「イブニング講座コース 平日 AM11 時～PM9 時迄」の時間帯を設定し、資格別・コース別に講師が担当する講座です。資格の勉強を始めたいけど、忙しくてその一歩が踏み出せない。

そんな悩みを解決するために生まれたのが、忙しい人専用の学習法「スタディング」です。これは「いつでも、どこでも、学べる」講座です。

そのような「モーニング・イブニング講座」の講師をやってみませんか？
MMP グループの資格を持っている方なら、だれでも応募できます。新しいチャレンジにジャスト・トライ・イット・・・。



【詳細はこちらから】

<https://www.jnmp.jp/study/index.html>

【研修講座のご案内】

<https://jnmp.jp/study/hanro/shikaku.html>

【モーイブ講座の講師を希望の方はここからの問い合わせから】

<https://www.jnmp.jp/cgi-bin/institute/form.cgi>

MMP 総研研究員募集 ～MMCO に挑戦する方へ～

最上位資格者は、MMCO を受験できる。MMCO 資格者は、さらに他の条件(下記)を取得すると研究員に応募できる。

MMP®総研は、「一般社団法人 JMC 日本販路コーディネータ協会」及び「一般社団法人 JTCC 日本観光文化協会」を核に、調査・研究活動等に取り組んでいる。当研究所の名称でもある MMP®は、マネジメントマーケティング・プログラムの略称であり、当グループのコンセプトである「モノづくり、コトづくり、場おこし」＝「人づくり」や、MM(マネジメントマーケティング)の考え方をベースにした MMC、MMP®の普及を目指している。学生やビジネスパーソンの成長を広く支援することこそが、MMP グループに与えられた大きな取り組みのテーマであると考えている。

【事業ミッション】

「コトづくり、モノづくり、バおこし、人づくり」「コトづくり、モノづくり、バおこし」における継続的な人材育成連携ネットワークを目指す。MMP 総研から各学校への授業講師派遣、各都道府県への講師派遣も行っている。

【MMP®総研の役割】

- (1) 人材育成の在り方の調査・研究と必要な教材の開発
- (2) 人材育成講座の研究、開発、実施
- (3) 専門家集団としての資質の向上
- (4) MMP®研究の募集と評価
- (5) コンサルティング技法の研究・開発
- (6) 研究・開発の登録及び内外への啓蒙活動
- (7) マネジメントマーケティングに関する情報の収集及び分析
- (8) 中小企業経営、マーケティング、販路開拓、商品開発支援活動
- (9) マネジメントマーケティング・コーディネーター(MMCO)の研究員募集と審査登録
- (10) その他、上記に関連する必要な諸活動

【一般研究員募集】

申込みは 2024 年 6 月末を締切とし、8 月中の審査

【一般研究員申請の条件と申請方法】

以下 3 資格の全取得者

- ① マネジメントマーケティング・コーディネーター
- ② ミドル認定講師
- ③ MMP®リーダー取得者(統括リーダーまでは必要なし)

【登録詳細】

<https://www.jmmp.jp/research/index.html>

【MMP総研トピックスはこちら】

◇学校・企業へ教育のご案内

<https://www.jmmp.jp/school/index.html>

◇モーイブ講座開設のご案内

<https://www.jmmp.jp/study/index.html>

◇連携校開設のご案内

<https://www.jmmp.jp/renkei/index.html>



MMP 総研
Management Marketing Program

21

研修・試験スケジュールのご案内

お申し込みは、ホームページの専用受付フォームより
※都合により日程が変更になることがあります

2025 年上期全国一斉試験	
2026 年 6 月 7 日(日)	
日本販路コーディネータ協会資格認定研修プログラム	
販路コーディネータ 3 級研修	2026 年 1 月 31 日(土) 2026 年 3 月 22 日(日)
販路コーディネータ 2 級研修	2026 年 4 月 11 日(土) 2026 年 7 月 12 日(日)
販路コーディネータ 1 級研修	2026 年 9 月 12 日(土)
日本商品開発士会資格認定研修プログラム	
商品プランナー研修	2026 年 1 月 10 日(土) 2026 年 3 月 15 日(日)
商品開発士研修	2026 年 4 月 12 日(日) 2026 年 7 月 11 日(土)
商品開発コーディネーター研修	2026 年 9 月 12 日(土)
日本セールスステップ協会認定研修プログラム	
セールスステップ 3 級研修	2026 年 1 月 11 日(日) 2026 年 3 月 14 日(土)
セールスステップ 2 級研修	2026 年 4 月 4 日(土) 2026 年 7 月 5 日(日)
セールスステップ・マイスター研修	2026 年 9 月 12 日(土) 2027 年 1 月 24 日(日)
日本販売促進協会資格認定研修プログラム	
プロモーションプランナー研修	2026 年 1 月 24 日(土)、1 月 25 日(日)2 日間 2026 年 3 月 21 日(土)、3 月 22 日(日)2 日間
プロモーションプロデューサー研修	2026 年 4 月 11 日(土) 2026 年 7 月 18 日(土)
プロモーションコーディネーター研修	2026 年 9 月 13 日(日)
日本観光士会資格認定研修プログラム	
観光プランナー研修	2026 年 1 月 18 日(日) 2026 年 3 月 21 日(土)
観光士研修	2026 年 4 月 5 日(日) 2026 年 7 月 4 日(土)
観光コーディネーター研修	2026 年 9 月 13 日(日) 2027 年 1 月 23 日(土)

ホームページのご案内

日本販路コーディネータ協会	https://www.hanro.jp
販路コーディネータ 3 級 販路コーディネータ 2 級 販路コーディネータ 1 級 MMCO 資格	
日本セールスレップ協会	www.jrep.jp
セールスレップ 3 級 セールスレップ 2 級 セールスレップ・マイスター資格	
日本営業士会	https://www.nrep.jp/
営業士初級 営業士上級 営業士マスター資格	
日本商品開発士会	https://www.jmcp.jp
商品プランナー 商品開発士 商品開発コーディネーター資格	
日本販売促進協会	https://www.jsp.or.jp
プロモーションプランナー プロモーションプロデューサー プロモーションコーディネーター資格	
日本観光士会	www.jtcc.jp
観光プランナー 観光士 観光コーディネーター資格	
全国観光特産士会	https://www.jtmm.jp/
観光特産士 4 級 3 級 2 級 マイスター資格	
セールスレップ・販路コーディネータ協同組合	www.e-rep.jp
MMP@総合研究所	www.jmmp.jp/labo/

～あらゆるメディアの創造に挑戦～

MMP グループは、専門知識を得たい人に
その知識や関連する情報の提供を目指しています

エキスパート 2026 年 1 月号

2025 年 12 月 25 日発行（隔月刊）

発行 MMP コミュニケーション

協力 セールスレップ・販路コーディネータ協同組合（一社）日本観光文化協会

一般社団法人日本販路コーディネータ協会

〒115-0055 北区赤羽西 1-22-15 大亜コーポ

TEL：03-5948-6581 E-mail mmmpc@jmmp.jp

※本誌に掲載されている文章・画像等無断転載及び複製等を禁じます。

※掲載内容についてのお問い合わせは、協会（info@hanro.jp）までご連絡ください。

©JMC All Rights Reserved.